



令和6年4月30日

学校だより

東京都立石神井特別支援学校
校長 中島 由美子

共に学び育つ

校門の八重桜の大樹も葉桜となり、まばゆい新緑の季節がやってきました。

新学期がスタートして1ヶ月がたち、新入生は、初めてのスクールバスの登下校や友達との学習など、さまざまな場面において全身全霊で自分を表現しています。進級した児童・生徒の皆さんは、新しい先生や学級の友達との学校生活に慣れるのに時間はかかりませんでした。本校の児童・生徒が生き生きと学校生活を楽しんでいる様子は、教職員一同の喜びとなり活力となっています。

中学部3年生は、4月から学年揃って食堂で給食を食べています。制服姿の調理員さんを前にして、よそっていただいたごはんやおかずなどのお皿を一人一人自分のトレーに載せて自席に着きます。下膳も含めてカフェテリア方式の給食にもすぐに慣れスムーズです。汁物など一部は先生にお願いしたりするなど、トレーの運び方などを個に応じて工夫し、自分のできることを着実にやる姿は頼もしい限りです。

さて、目の前のコップの中に半分くらいまで水が入っています。それを見て「もう半分の水しかない」「まだ半分の水がある」、どちらに感じるでしょうか。同じ水の量でも感じ方は人によって違います。心理学用語でリフレーミングと言いますが、捉え方を変えることで感じ方が変わったり物事が好転したりすることがあります。

本校では、自立と社会参加する力の育成のため、一人一人の児童・生徒の可能性を広げ、それぞれのよさを認めながら共に成長していく教育活動を行っています。行動や表現に時間がかかる場合もあるかもしれませんが、それは遅いのではなく、じっくりと考えている、周りの様子をよく見ている、いろいろなことに興味・関心を抱いている、と捉え気持の切り替え方の支援方法を探し、新しいことにも興味を持てるようスモールステップで計画的に丁寧に学習を重ねていきます。

今日は〇〇ができた、明日は〇〇に取り組もう、と次への期待感を持てるように毎日の学習を進めていきます。5月もそういう学習にたくさん取り組んでいきます。

あおぞら 青空に そる揃って泳ぐ およ鯉のぼり なつとな夏隣り あき朝の体操 いきあ息上がり

雨の中、お忙しいところ4月の保護者会にたくさんの方に御参加いただきありがとうございました。5月中旬には、個別指導計画についての個人面談があります。お子様の御家庭での様子や学校への御希望などを直接お伺いし、よりよい指導や支援へ活かせるよう理解を深めてまいりたいです。

引き続き皆さまの御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今年度より毎月の行事予定表をホームページに掲載しますので、御活用ください。